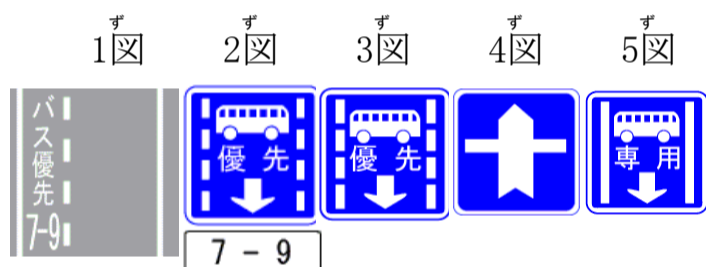


履修番号5

- 問題 1 交差点や交差点付近以外の道路を通行中、後方から緊急自動車が近づいてきた時は、車は、道路の左側に寄って徐行して進路を譲らなければならない。
- 問題 2 1図の道路標示がある優先通行帯は、7時から9時までの間は交通が混雑をしていて、路線バスなどが前後に見えないときでも、一般の車(原動機付自転車、軽車両、小型特殊自動車を除く)は通行することができない。
- 問題 3 制動距離は運転者が危険を感じてからブレーキをかけ、ブレーキが実際にきき始めるまでの間に走る距離をいう。
- 問題 4 交差点に入ろうとしている時に緊急自動車が近づいてきた時は、直ちにその場で一時停止し、緊急自動車に進路を譲らなければならない。
- 問題 5 停止距離とは、空走距離を除いた車が停止するまでの距離をいう。
- 問題 6 2図の標識がある優先通行帯では、その指定された時間以外でも、路線バスが接近してきた時は、その通行帯から出なければならない。
- 問題 7 オートマチック車を運転する場合、ブレーキペダルをしっかりと踏んだまま、チェンジレバーの位置を目で確認し発進する場合「D」後退であれば「R」に入れブレーキペダルを離し、徐々に走り出し、アクセルペダルを静かに踏んだほうがよい。
- 問題 8 停止距離は、空走距離と制動距離が1対3の割合である。
- 問題 9 信号機のない左右の見通しの悪い交差点を通行するときは、必ず徐行しなければならない。
- 問題 10 路面が雨にぬれ、タイヤがすり減っている場合の停止距離は、乾燥した路面でタイヤの状態が良い場合に比べて2倍程度に伸びることがある。
- 問題 11 二輪車のエンジンブレーキは、高速ギア(トップギア)から低速ギア(ロー)へ一気に入れたほうが制動力が大きく安全な停止ができる。
- 問題 12 オートマチック二輪車に無断変速装置が採用されている場合、エンジンの回転数が低い時には車輪にエンジンの力が伝わりにくくなる。
- 問題 13 アンチロックブレーキシステム(ABS)を備えた自動車で急ブレーキをかける場合には、システムを作動させるために、まず、できるだけ軽く踏み、それから必要な強さまで徐々に踏み込まなければならない。
- 問題 14 停止距離とは、ブレーキが実際にきき始めてから車が停止するまでの距離をいう。
- 問題 15 運転者が疲れている時は、危険を認知し判断するのに時間がかかるので、空走距離は長くなる。
- 問題 16 二輪車で走行中に急ブレーキをかけると、車輪の回転が止まり横滑りを起こす原因となるので、ブレーキをかける時は数回に分けて使うのがよい。
- 問題 17 オートマチック車では、ブレーキペダルをしっかりと踏んでおかないとアクセルペダルを踏まなくても自動車がゆっくり動き出すことがある。、これをクリーブ現象という。
- 問題 18 自動二輪車を運転中にブレーキをかけるときは、エンジンブレーキをかけながら前後輪のタイヤのブレーキを同時に使用するとよい。
- 問題 19 一方通行の道路で緊急自動車が近づいて来た時は、左側によるとかえって緊急自動車の妨げとなるような時であっても、必ず左側に寄らなければならない。
- 問題 20 二輪車のブレーキのかけ方には、ブレーキレバーやブレーキペダルを使って前後輪ブレーキを利かせる方法の他に、スロットルの戻し又はシフトダウン(低速ギアに入れること)によるエンジンブレーキがある。
- 問題 21 交差点や交差点付近以外のところで、緊急自動車が近づいて来た時は、道路の左側によって、進路を譲らなければならない。
- 問題 22 普通自動車は右左折する場合や工事などでやむを得ない場合を除いて、3図の標識のある車両通行帯を通行してはならない。
- 問題 23 4図の標識のあるところでは、左右の見通しのきかない交差点においても徐行しなければならない。
- 問題 24 のり坂の頂上付近は、見通しが悪いので徐行しなければならない。
- 問題 25 時速60キロメートルで走行中の普通自動車の停止距離は、おおむね22メートルである。
- 問題 26 3図の標識のある車両通行帯を通行しようとする自動車は、交通が混雑していて路線バスなどが近づいてきても、そこから出られなくなる恐れがある時は、はじめから通行してはならない。
- 問題 27 空走距離とは、運転者が危険を感じてからブレーキが実際に利き始めるまでに車が走る距離である。
- 問題 28 勾配の急な下り坂は、徐行して通行しなければならない。
- 問題 29 標識も標示もない一般道路での普通貨物自動車、大型自動車の最高速度は、時速60キロメートルである。
- 問題 30 車は濡れたアスファルト路面を走るときなどは、摩擦抵抗が大きくなり制動距離は短くなる。
- 問題 31 5図の標識のある車両通行帯では、原動機付自転車は通行してはならない。
- 問題 32 下り坂では加速がつき停止距離が長くなるので、車間距離は広く空けたほうがよい。
- 問題 33 車を運転中、後方から緊急自動車が近づいてきたので、交差点内であったがすぐ左側によって一時停止した。

- 問題 34 制動距離とは、運転者が危険を感じてからブレーキを踏み、ブレーキが実際にきき始めるまでの間に車が走る距離をいう。
- 問題 35 道路の曲がり角付近では、徐行しなければならない。
- 問題 36 左右の見通しがきかない交差点(交通整理が行われている場合や、優先道路を通行している場合を除く)では、徐行しなければならない。
- 問題 37 上り坂でオートマチック車を駐車するときは、チェンジレバーをL(ロー)に入れておくのがよい。
- 問題 38 制動距離は、空走距離と停止距離を合わせたものである。
- 問題 39 上り坂の頂上付近では、エンスト防止のため、加速して一気に通過するのがよい。
- 問題 40 路面が雨に濡れている所でブレーキをかける時は、ブレーキペダルを力強く一度に踏むのがよい。
- 問題 41 停留所で止まっていた路線バスが、方向指示器などで発進の合図をしたので、徐行してそのバスを先に発進させた。
- 問題 42 交差点の手前で、緊急自動車のサイレンに気づいたがそのまま交差点に入り、すぐ後ろに緊急自動車があったのでその場で一時停止した。
- 問題 43 道路の左側に路線バスの専用通行帯が指定されている所では、左折するときでも、そのレーンは通行できない。
- 問題 44 交差点の付近を通行中、緊急自動車が近づいてきたので、交差点を避け道路の左側によって一時停止した。
- 問題 45 一方通行の道路で緊急自動車が近づいて来た時は、必ず道路の右側によって進路を譲らなければならない。
- 問題 46 近くに交差点のない道路で緊急自動車に進路を譲る時は、一時停止しなくても道路の左側に寄ればよい。
- 問題 47 普通自動車を運転中、最も左側の通行帯が道路標識などによって路線バスの専用通行帯に指定されていたが、その通行帯に入って左折した。
- 問題 48 路線バスなどの優先通行帯を走行中、通園バスが接近してきたが路線バスではないので、そのまま進行した。
- 問題 49 オートマチック車は、エンジン始動直後やエアコン作動時には、エンジンの回転数が高くなり、急発進するので、注意する必要がある。
- 問題 50 交差点の中で、後方から緊急自動車が接近してきたことを知った時は、直ちにその場で停止しなければならない。



履修番号5 解答



もんだい 問題 1	×		もんだい 問題 26	○	
もんだい 問題 2	○		もんだい 問題 27	○	
もんだい 問題 3	×		もんだい 問題 28	○	
もんだい 問題 4	×		もんだい 問題 29	○	
もんだい 問題 5	×		もんだい 問題 30	×	
もんだい 問題 6	×		もんだい 問題 31	×	
もんだい 問題 7	○		もんだい 問題 32	○	
もんだい 問題 8	×		もんだい 問題 33	×	
もんだい 問題 9	×		もんだい 問題 34	×	
もんだい 問題 10	○		もんだい 問題 35	○	
もんだい 問題 11	×		もんだい 問題 36	○	
もんだい 問題 12	○		もんだい 問題 37	×	
もんだい 問題 13	×		もんだい 問題 38	×	
もんだい 問題 14	×		もんだい 問題 39	×	
もんだい 問題 15	○		もんだい 問題 40	×	
もんだい 問題 16	○		もんだい 問題 41	○	
もんだい 問題 17	○		もんだい 問題 42	×	
もんだい 問題 18	○		もんだい 問題 43	×	
もんだい 問題 19	×		もんだい 問題 44	○	
もんだい 問題 20	○		もんだい 問題 45	×	
もんだい 問題 21	○		もんだい 問題 46	○	
もんだい 問題 22	×		もんだい 問題 47	○	
もんだい 問題 23	×		もんだい 問題 48	×	
もんだい 問題 24	○		もんだい 問題 49	○	
もんだい 問題 25	×		もんだい 問題 50	×	

☆見直しのポイント

不正解だった問題やわからなかった問題は、学科教本にマークし、後で暗記できる状態(明日になると忘れてしまいますので・・・)にしておきましょう。→問題で覚えると、文章などが変わるとわからなくなります。